伯剌西爾時報

伯剌西爾時報社 發行所
電話 七・四六〇七
社長 鮫島石作 Director M Sameshima
購讀料 一ヶ年 六十 半ヶ年 三十
廣告は御照會次第御返信

珈琲 サントス四級 十キロ 一七、五〇〇 リオ七級 一二、三〇〇
爲替 對日 四、六六五 郷里送金 五、六七〇 對米 一九、七七〇 對英 八〇、〇五〇

日華兩國世紀の盟約
歷史的調印茲に終る
その一瞬 汪氏の眼に感激の淚浮ぶ

【南京卅日同盟】汪精衛氏良導下の國民政府を中華民國に於ける唯一正當の政府として承認、日華一體不可分の友好を確約する日華國交調整に關する條約及び日滿華三國は相互にその獨立を尊重し善隣友好、共同防共、經濟提携の原則に立ち、東亞民族開放の共同戰線を構成すべき事を闡明する日滿華三國共同宣言は、共に卅日、南京國民政府大禮堂に於て日華兩國及び日滿華三國代表間にそれ〴〵無事その歷史的調印を了した

世紀の盟約を生むこの日調印式場、國民政府大禮堂は正面に日華兩國々旗が鮮かに揭揚され大陸初冬の陽光を浴びて一際爽やかに輝く 調印式場は椿、マーガレットの鉢で質素ながら明るく映えてゐる 午前九時四十分、先づ汪精衛主席が外交部長褚民誼、財政部長周佛海、工商部長梅思平、宣傳部長林柏生以下交涉委員十四名を從へ、何れも晴やかな面持で到着、續いて阿部大使が日高參事官、松本條約局長、影佐陸軍、須賀海軍兩武官を從へ颯爽として姿を現した、定刻十時先づ汪主席以下、中國交涉委員は控室より式場に入り汪主席は若々しい溫顏を輝かして中央に着席、その背後に交涉委員が二列に着席すれば、阿部全權大使以下帝國全權團が肅々と入場、中國側に向き合つて着席する、靜寂に歸した式場中央の大テーブル上には條約成文がきちんと置かれ、傍には硯、毛筆が用意されてゐる、斯て阿部大使は汪主席と輕く目禮を交し、相共に立つてテーブルに歩み寄つた映畫のカメラがジー〳〵と廻り出す、愈よ署名調印だ、歷史に綴られる一刻だ、汪、阿部兩氏は、靜かにテーブルの傍に着席、椅子を引寄せそれ〴〵自分の前の條約成文を取上て一字〳〵力をこめて署名する胸の引き締る一瞬だ、五ケ月間の辛苦が報ひられんとする日支兩國交涉委員の顏は感激に震えてる、署名を終つた條約成文は紅白のリボンの上に封臘が施され、主席と大使とは之に銅製の印判を確かと捺して、遂に日支國交調整の礎は下されたのだ、調印を終へてホッとした阿部さんの顏が綻び、一方、一昨年重慶脫出以來、血の出る樣な二年間の苦心が報ひられた感激に汪主席の眼には淚さへも浮んでゐる、最後に居並ぶ同志も溢れる感激と歡喜を禁じ得ぬ樣子で、汪のハノイ避難時代からこれ等の人々は生命を賭して交涉の勞にあたつた日本側影佐少將以下隨員も萬感交々胸に迫ると云つた面持で嚴肅な式場に壓縮された一同の感激と今にも爆發せんとする歡喜を表現せんとするかの如く、折柄揚子江上にあつた帝國軍艦出雲の放つ祝砲は殷々と谺した

英空軍 地中海で暴れる ドデカネス島猛爆

【倫敦廿九日發】UP電によれば英空軍は地中海へ大擧出動、伊太利領ドデカネス島基地へ猛爆を行つた

時評

ルーマニヤ鐵衞團と皇帝派の爭鬪は益々劇しくなり猛り立つた鐵衞團はクーデターを始め既に皇帝派の二千名を銃殺した、ルーマニヤ政府當局は悲然自失なす處を知らず獨軍にその鎭壓方を依賴した、然し乍ら鐵衞團の正體そのものがナチス黨の手先であり親獨分子を以て形成されたものであることは周知の事實だ。面して皇帝派なるものゝ構成分子が英國の傀儡であるからには、獨逸としては鐵衞團を支持こそすれ武力による鎭壓策をとるが如きは以ての外であることは自明の理である。消息筋の確報に依ればヒットラーは一部將を派して鎭撫をしてゐるが、此はルーマニヤ政府の懇請受けた手前形式的なものであらう。彼の本意はルーマニヤをしてチェッコスロバキア同樣、其內亂平定の名目にかこつけて獨逸に併合せんとするものゝ如くである。茲に問題なのはルーマニヤ北部及ベッサラビヤを併合したソ聯の動向であるが、ソ聯果して獨逸のルーマニヤ併合に同意するや否やが疑問であつて若し同意せざる時はソ聯がブルガリヤ、トルコ、ギリシヤを助けて獨逸に反抗するやも計り難く、一時獨逸の制壓下に安定すべく見られてゐたバルカンがまた騷然となり累卵の危きに立至るのではないかとも推測される。

脆弱性曝露した湯恩伯率ひる督戰軍
訓練不充分裝備劣惡

【〇〇卅日同盟】軍報道部發表 三十日發表 我軍は陸海航空部隊の積極緊密なる協力の下に行動開始以來、其進擊ぶりは恰も疾風落葉を卷く如く僅々四日の短時日を以て赫々たる戰果をおさめたのである、最近の作戰に於て我軍の爲め徹底的打擊を蒙つた第五戰區正面の敵軍は重慶の指令に基き整訓に努め、總反抗を呼號してたが、我軍の一擊に逢ふや全く鎧袖一觸其抗戰組織を喪失、隨處に我軍の好餌となり殲滅せられ、或は捕虜となり山中に匪化するに至つた、從來中央系督戰軍と稱せる湯恩伯軍は戰場より程遠からぬ地點に置位しながら、徒らに兵を擁して待避にこれつとめ來つたが、今やその戰意減退は唯に兵士のみならず督軍上層部にまで滲透し抗戰能力の脆弱化を遺憾なく曝露せるものである、その抗戰兵力に比し敵遺棄屍體の大なるは訓練の不充分なるを意味し、鹵獲品の寡少なるは兵士裝備の劣惡化を物語るものである、我部隊は多大の戰果を收め、全線に亘り敵を慴服せしめたが湯軍にして自己をわきまへる事無く再び蠢動せんか我軍は適時隨處にこれを捕捉殲滅の態勢にある

業務不振物にならぬ 重慶系銀行上海引揚げ
預金者皆無の不信用曝露

【上海廿九日同盟】中央中國交通、中國農民の、重慶政權系四銀行は、何れも上海支店引揚げを準備中と謂はれるがその際、右四銀行の外國爲替業務は、米國系チエス銀行に一般銀行業務は上海貯蓄、四明銀行等に委託經營せしめる方針と傳へられる、然して重慶側政權系四銀行の外國爲替業務は最近著しく停頓狀態に陷り、一方重慶政權から採算のとれぬ奧地投資を強要される立場に在る四銀行に對する一般民衆の信用も頗る薄くこれが爲、預金業務は全く振はず、商業關係預金の吸收は皆無とさへ謂はれる

上海爲替 【上海廿八日同盟】爲替前引け對英三ペンス四の三、對米五ドル八の七、軍票變らず

生糸相場 【東京二十八日同盟】濱糸前寄り、落一三六四、一三七六、一三七九、ナシ、ナシ

綿花相場 【東京二十八日同盟】綿花前寄り七三二五、七三二五、以下申サズ

重慶が重大發表せん
和平?抗戰繼續? 二十八日夜 緊急國防會議開く

【香港二十九日同盟】蔣介石は二十八日夜より二十九日午前にかけ私邸に臨時緊急國防會議を召集、和戰問題特に汪精衛最後の停戰勸告通電に對し、採るべき態度及び在外使臣の報告に基き今後の對外諸政策に就き重大決定を遂げたと謂れる、尙重慶政權は右會議決定に基き、今明日中に重要發表を行ふと

北中支戰鬪概況
支那派遣軍報道部發表

【南京二十九日同盟】支那派遣軍報道部發表 北支に於る共產軍の掃蕩は引き續き敢行され、中支宜昌地區では陸海軍緊密協力下に敵を擊滅中、國民政府では二十八日、日支國交調整に關する條約案を可決し、更に二十九日汪精衛氏の主席就任を見、新中國の統一强化に巨歩を進めた

〇〇二十九日發 我陸軍各部隊は二十九日午後三時隨縣西北方三十キロ何市店附近に遁走集結せる敵に對し、東西兩面より挾擊、追擊部隊またこれに呼應、敵を完膚なきまでに蹂躙した、更に陸鷲は潰走する敵を猛襲、大半を擊滅した

寸鐵

●獨逸廢帝カイゼルはオランダ・ドームの佗住居に於て發病重態に陷つた、何分高齡の事とて附添醫師連も容態を案じてゐる、往年世界統一を夢見て乾坤一擲の大戰を挑起し惜しくも一敗地にまみれたが今亦その獨逸が奮起して歐洲に新秩序を建設せんとしてゐる、茅屋で重床に呻吟するカイゼル前皇帝の胸中定めし感慨無量なものがあらう

●日本と友好關係に入つた佛印とこれも昔からの友好國、泰とが將に血の雨を降らさんとしてゐる、泰には英國の魔手が入つたらしい、日本から見ると兄弟喧嘩見たいなもので困つたものだ

●汪氏の元首就任で重慶が大慌てで國防會議開く、和平を選べばよいが、抗戰繼續となれば將の生命も先づ永くないと斷ぜられる

米が重慶へ 二十億弗?の資金融通
通貨支持工作を强化

【華府三十日發】AP電によれば、米國大藏當局は、來る十二月二日上院に對し、重慶政府の通貨支持と强化のため二十億弗?の資金融通案を提出することゝなつた、右に關聯してヘンリー藏相は米國銀行團とも下相談を行ひ、支那以外南米諸國への借款にも應ずる準備を行ふと

チャーチルの誕生祝
蘭印から英へ 飛行機七台を贈る

【バタビヤ二十九日發】ロイテル電によれば、チャーチル英首相の誕生日に當る三十日を祝してラン印當局より英國へ軍用飛行機七台製作費用として三万五千磅の金を贈呈して來つたので、バーベルロック英空相は早速製作に取掛り、出來の上はラン印主要都市の名を附しラン印の好意に應へる事となつた

敵遺屍千四百 捕虜千二百
漢水作戰迅速に進む

【襄東〇〇前線卅日同盟】中支軍當局談 漢水東西地區に於る作戰は迅速に進展し、西方に於ては宜昌南方地區の敵を包圍覆滅し、東方に於ては大行山西麓及び隨縣方面の敵を擊破蹂躙して各方面に於る敵の策動を事前に粉碎せり 本日までに判明せる戰果は左の如し

一、敵遺棄屍體一千四百
一、捕虜一千二百、火砲五門、重機關銃六十、小銃一千六百、同彈藥その他多數

不純策動を斷乎一掃
大政翼贊會へ 及川海相重大申入れ

【東京二十九日同盟】及川海相は二十九日の閣議席上、陸海軍兩大臣を代表して發言を求め

一、大政翼贊會の健全なる發展を助成し
二、生產力の擴充に關しては、彌勒自給の大政を整備し
三、不純なる政治的策動及び民心を迷はせる浮說は斷乎一掃すべき旨を特に强調した

重大申入れを爲すと共に、陸海軍としては近衞內閣を全幅的に支持する旨明確にした、他に對し各閣僚も全く同感の意を表し政府は組閣當初の氣魄を新たにし、軍官民一體となつて全面的新體制確立に邁進すべく申合せた

泰・佛印の雲行益〻險惡
泰國後備兵召集令出す
在住佛人に退去命令

【バンコック卅日同盟】一昨廿八日朝佛印機の泰國領土內爆擊を契機に泰、佛印國境方面の空氣は俄然緊張し來つた即ち當地新聞の報ずる處によれば、警視廳は廿八日、警視總監の名の下に秘密警察署に對し、嚴に抑留中の者及び國境地區內に居住するフランス籍人に對し、廿四時間乃至四十八時間以內に泰國內より退去すべき旨命令を出し、且つ佛印人の泰國內通過を禁止し事實上佛印との國境を閉鎖するに到つた、更に國防省、陸軍總司令部は同日附けを以て後備兵召集を布告すると共に續々動員を行ひつゝある

輜重兵學校令制定
十二月一日より施行

【東京廿九日同盟】陸軍では近代戰に對應する軍備充實計畫の一つとして、輜重兵に必要なる學術を修得し併せて輜重兵部隊に關する學術の調査及び研究を行ふ爲今回輜重兵學校令を制定、十二月一日より施行する

天羽駐伊大使 チアノ外相訪問
歸國挨拶述ぶ

【ローマ廿九日同盟】天羽駐伊大使は廿九日午前十時半キヂ宮にチアノ外相を訪問歸國の挨拶を述べた後、最近の歐亞情勢一般につき意見の交換を遂げた

米ソ間に通商協定成立?

【華府二十九日發】ハーバス電によれば、ウェルズ米國務次官と駐米ソ聯大使ウマンスキー會談の結果、米ソ間に通商協定が成立したと謂はれる

霞ヶ關に大旋風
外交陣の大異動評 (四)

松岡の外相振は板についてゐるやうでもあり、ピントを外れてゐるやうでもある。大使公使を動かして新しい氣分を吹き込んでも、さて夫子自らはどんな外交をやるかには未だ疑問符が殘されてゐる。小磯大將をラン印への特派大使に選んだまでは良かつたが、いつの間にか小磯は辭退して小林商相が之に代つてラン印へ乘込んだのはどうしてなのであらうか。米國が昨年の日米通商航海條約を廢棄して以來、揚子江の開放にも滿足せずして いろいろと難癖なことを持ちかけて來た。最近では石油、屑鐵迄も禁輸或ひは許可制を取つてヂリ〳〵と迫つて來てゐる。そればかりでなく、佛印 ラン印のことにまで牽制的態度を取つてゐるのを松岡はどうして應酬するのだらう、彼は米國には多少知己もあるのだし、本來ならば彼自ら米國へ乘出して行つてもこんなことは片附けるべきだ。

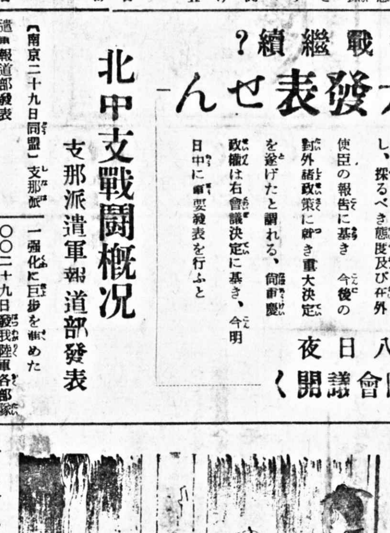
彼は外相になつた當初は、舌禍を恐れてか、神妙に沈默してゐた。だがその神妙さもほんの五、六日つゞいたのみ元來天下三饒舌家の一人だけあつて、いつの間にか本領を發揮し出した。今では相手が多勢であらうが少からうが、又外國の使臣であらうが、友人であらうが話に興が乘つてくると、矢庭に立ち上つて腕を振り、卓を叩いて熱辯を揮ひ出す。その度にチョイ〳〵云はないでもよいことまで喋べり過ぎて、饒舌のある問題まで惹起したりしてゐる。何しろ名調子で熱があるから、聞く方も知らず〳〵に吊り込まれる。松岡からお喋べりを拔いたら淋しいと云はれる譯だ。だがいくら吹き捲くつても彼が就任早々に聲明した「日滿支を一環とする大東亞圈、それには當然南洋も含む」のがぐらつくと、彼の雄辯も無駄になるばかりか、自ら墓穴を掘らないとも限らない。日支事變開始當時は彼は前途を明察し、進言したのによいものがあつた。

次官の大橋忠一は、松岡よりはテキパキした處がある。松岡が外相になつた當時、新聞辭令によると次官の候補は十指に餘る位あつたが、何れも松岡の眼には叶はなかつた。そして滿洲へ行つて久しく忘られてゐた大橋忠一がラン印の旅からそのまゝ霞ヶ關に登用した折は、みんなが度膽を拔かれたやうであつた。大橋は滿洲事變勃發後、哈爾賓總領事から滿洲國外交次長になり、更に初代長官、參議になり その參議も先き頃辭めて悠々自適の生活をしてゐたのだ。滿洲國へ行つたことが彼の手腕を認めさせる動機となり、松岡とも親しくなつて今度の外務次官就任となつたのである。そんな譯であるから霞ヶ關に於ける官歷が足らず、次官の一得を三ケ月やられねばならないのも面白い。彼は却々情熱的である。滿洲國官吏時代には滿洲國人や半島人のインテリ浪人に懷しがられてゐた。彼が滿洲から消え去ると困るのはこんな連中だらうとさへ噂されてゐる。

あばれ大名 (講談上演 映畫化)

久我荘多郎 作
倉藤秀嶺 畫

(二百六十五) (どくろ船) 盛衰一路 (二ノ二)



奧で、德兵衞が呼んでゐる
「佐分利先生。これまでお越し下さい」
「おゝ」
一學が座敷へ通ると、鯖七もそゝくさと後につゞいた。
奧の座敷へ來てみると、鯖七が案じるのも道理、德兵衞は、ションボリとして、考へ深さうな目になつてゐた。
「―旦那」
「おッ、先生」
縋り付かんばかりに、德兵衞。
「先生。雨崎屋は、たうとう落目になつちまひました」
「なんですと?」
言ふことが突然だから、さすがに一學も、ハッとした。
「何といはれるのか!」
「雨崎屋は落目になつた、と申すんですよ。雨崎屋は、この讚岐から、追ひ出される破目になつちまつたんですよ」
「ふゥむ」
と、太い息を洩らした一學は、胸のところで兩腕を組んで、「お城からの迎ひは、その話でしたか?」
「さうなんですよ」
悲しい目になる德兵衞である。「藪から棒の話で、おれには何が何だかわからねえが――お城の重役たちにも、何が何だかわからないといふ話だつた。たゞ、わかつてゐるのは、さつき江戶からの急使が着いて、雨崎屋德兵衞を、このおれを、當讚岐から追ひ出せといふんですッてさ」
「………」
「そして、爾今關り合つてはならないといふことで……」
「………」
「だが、先生」
と、また縋り付かんばかりに膝を動かして、
「この讚岐から追ひ出されると、おれの行末はどうなるだらう。おれの行先は、どこに―あるだらう」
「は、はははは」
しづかに笑つたかと思ふと一學は、
「旦那らしくないお心弱いことだ。旦那には、海があるぢやありませんか」
「その海には、支倉大三郎が大きな網を張つて、おれを待つてゐるだらう」
愁々たる聲音の德兵衞である。――嘗ての日、讚岐高松藩のお關船の船底で、浩鬱老人を閉ぢ籠めて、大阪安治川岸を船出したことがある。
あの時の德兵衞の心境は、まさに、王者の心であつた。晴れがましいものであつた。如何ばかり、めぐり來つたわが世の春を、謳歌してゐたことか。何事も「幸」の一字に盡きる。でお關船の船櫓の上に立つて、
「海もよいなぎ……この德兵衞の行手も、また明るく晴れてゐる」
と、思はず哄笑してゐたものである。
だが、しかし!
あれから數へて、まだ一年經てゐないといふのに、思ひもかけず、かうも悲運が襲ひかゝつて來ようとは――。
さすがに、剛腹な德兵衞も不意に、胸へ氷を當てられたやうに、悚然とならずにはゐられない。
佐分利一學にいはれるまでもなく、おのれ自身も、いまのあまりに暢氣になり果てゝ行く心境を、不甲斐ないことは知つてゐるが、ちようど崩れゆく崖土みたいに止まる處がないやうに思へる。
その德兵衞が、
「―海には、支倉大三郎が大きな網を張つて、おのれを待つてゐるだらう」
と、愁々たる聲音になるのを聞いて、彼の膝にゐた波乘りの鯖七、
「旦那。そ、そんな馬鹿な…―」
と、しやしやり出た。

獨機の大編隊リバプール襲ふ
凄壯！八時間に亙る大爆擊
市内各所より大火災生す

【リバプール二十九日同盟】二十八日夜、獨爆擊機隊は大擧リバプールに來襲、八時間以上に亙つて雨霰と數百噸の爆彈を市街に浴びせかけ、必死の高射砲陣は一面の彈幕を張つて後から〳〵現れる獨機群に猛擊を浴びせ、空陸の應酬は凄絶を極めた、右空襲の結果市内商業地區各處では多數の事務所が大損害を蒙り又勞働者居住區域の家屋も多數破壞された、又獨機は燒夷彈を多數投下した爲市内各處に大火災を生じた、市民の死傷多數に上るものと見られるが、詳細は不明である

【リバプール二十九日同盟】獨逸爆擊機隊は、大擧リバプール襲擊、八時間以上に亙つて數百噸の爆彈を市街へ投下、高射砲陣また獨機に猛爆を浴びせ空陸の應酬は凄絶を極めた、右空襲の結果、市内各處に火災が生ずると共に多數家屋が破壞された

果敢！驅逐艦隊 英本土附近を荒す
ドイツ軍司令部發表戰果

【伯林二十九日同盟】獨軍司令部發表

一、獨驅逐艦隊は、英佛海峽の英國海岸に近い西部入口附近に侵入、英驅逐艦隊との間に戰鬪を展開し、敵艦二隻に對し魚雷を發射した他の獨驅逐艦隊は英國南部海岸沖合で九千噸竝びに三千噸の汽船各一隻、更に小型汽船二隻を擊沈した

一、獨空軍は二十八日も引續きロンドンの中心地區に對し爆擊を敢行、大火災竝に爆發の起るのが認められた

一、強力な獨空軍は、二十八日夜プリマス港の港灣施設に對し集中爆擊を敢行、猛烈な爆發竝びに大小の火災を起さしめた、更にスコットランドの某大都市の鐵道施設竝に工場を爆擊、多大の損害を與へた

一、陸海軍の長距離砲は再びドーヴァー海峽上の敵船舶に對し、猛砲擊を浴びせた

パラグワヰ外相辭任

【アスンソン廿九日發】パラグワヰ外務大臣トーマス・Aサロモニ氏は今日その職を辭した、後任にはルイス・アラガナ氏が決定した

空に海に陸に！ ファシスト軍の奮戰
伊太利軍司令部發表戰果

【羅馬二十九日同盟】イタリー軍司令部發表

一、ギリシヤ戰線で、二十八日、我が各部隊は進擊せんとする敵軍に對し攻擊を加へた

一、約三百機よりなる我が空軍編隊は、廿八日敵陣地の中心地區竝に運輸施設に對し猛爆を浴びせた他、コルフ島の軍事施設を爆擊した

一、エセキ竝びにソピキ地帶に於ては、我が空軍の爆擊に依り各處に爆發竝に火災が起り、更に石油貯藏庫は機銃掃射に依りて破壞した

一、マルタ島附近に於て我空軍は、再び英艦隊を攻擊大型艦艦に重量彈を命中させた

一、大西洋でイタリア潛水艦は一萬噸の敵輸送船を擊沈した

大統領就任紀念に メキシコの特赦令

【メキシコ市廿九日發】新大統領アヴイラ・カマッチョ將軍は來る十二月一日就任の筈であるが、これを機に政治犯人を主とする特赦令が公布される筈である

伯亞兩國に挾れた 牧畜の國パラグワヰ
伯國との關係日に緊密

パラグワヰは、アルゼンチン聯邦とブラジルの間に嵌込まれた完成された組織と、勤勞と進步をモットーとする國民を有する南米の一小國である

植民時代の當初は、その國土に住む土民を巧妙に操つり、好結果を得たユダヤ人建築會社の影響をうけること甚大であつた、同國はその組織が文明化されるずつと以前、即ち一八六五年から一八七〇年に亘り戰つた、この戰の終り頃から、この卓絕した國民は、その經濟再建に努力を致し、よりよき進步へと前進した

現一九四〇年のパラグワヰはその人口の稀薄と、交通網の不充分に因り廣大な空地を有し、適當なる氣候と相俟つて牧畜の隆盛を來し、强固なる經濟力を有してゐる

パラグワヰは最後のチヤコ戰爭に何故戰はねばならなかつたか？——全ては不意打ちであつた、がこの戰は近い中にその繁榮を來すであらう處の適當な進路と、方則的な手段の發見に合致する最高の形態をこの國に明示した

外國人移民を國籍分類すればアルゼンチン人、ドイツ人、イタリー人、スペイン人、オーストリヤ人、ロシア人、ポーランド人、日本人等である 農産物はミーリョ、マンジョカ、米、マテ茶、藥草等を主としてゐる

パラグワヰ河の地位は重大である、この河を通じ重大な利害關係を有つ運輸が行はれつゝあるからである

主な鐵道はポサダス、ブエノス線のアスンソンからエンカルナソンに到るものであり、鐵路延長は一、一四七キロメートルに達する（以下は伯國、パラグワヰ關係に就て聖市駐在ダニエル・パラグワヰ領事に訊く）

パラグワヰの面積は二十五万三千平方キロメートルに及び、人口は百二十万人に達する、同國は今だ口ノ不足の憾みがあり、少し以前までは國内に外國移民に依る植民地を釀成しつゝあつた

牧畜業に就いて謂へば、パラグワヰの誇りとする畜類は、英、伯、亞種と何れも品種を改良され、同國産業に强固な地位を占めてゐる、工業としては製糖業が主なるものである

この國の主要交通路を占める

問 今次歐洲大戰は兩國の通商關係に惡影響を與へたか

答 否、大戰は反對にこの二友邦關係を有利に展開しつゝある、この事實を明白に示すものに、一九三九年聖市よりパラグワヰへの輸出は二千三百コントスであつたが、一九四〇年の今月今日、既に昨年の額を超過し、急激な增加を見る年末までの增加分を竢すのみである

問 貴下の觀察に依れば、兩國の市場に新商品の割込むべき余地があるだらうか

答 パラグワヰは久しい間伯國製品特に聖市よりのものには無税主義を堅持し來つた、主なる輸入品は製造品で、醫藥品、織物、机用金具、陶滋器等で、愈々增加の趨勢にある

問 伯國、パラグワヰ通商を增進せしめる原動力は

答 色々あるが、その一つは交通路である、現にパラグワヰは新式の道路を開設すべく努力してゐる、又コンセプション、ポンタ間を結ぶ鐵道も完成し、カンポ・グランデから發車する西北道の支線完成も間近い、この支線完成の曉は伯國との交通は至極容易となり、聖市としても對パラグワヰ通商に大いに利用出來得るわけである、他にパラグワヰ政府は、亞國、ボリビア、ウルグワヰ等諸國との通商關係調整策を考究中である、パラグワヰ産の煙草、棉、タンニン、マテ茶、ペッチー・グレーンの素等は、的確なる通商政策を以てすれば諸外國市場に歡迎される事請合である、これ等の最大顧客は、亞國、北米、英國、ウルグワヰ等で戰前けベルギー、フランス、イタリー等も顧客國であつた

◇　◇

泰國の招きに應じ 庭球二選手を派遣
彼地で三日間の對抗戰

【東京廿九日同盟】南洋協會の斡旋に依る我鶴田安雄、中原資捷（早大）兩庭球選手の泰國招聘に關し、日本庭球協會では、過般來文部省その他關係官廳に認可申請中であつたが、この程諒解成り、兩選手は來る十二月七日神戸出帆のバンコック丸で出發する事となつた、兩選手は廿二日バンコック着廿六、七、八の三日間に亘りバンコックで日泰對抗戰を行ひ、他、模範試合を行ふ

サンチアゴ市で 汎アメリカ赤十字社大會
亞國支社出席に決す

【ブエノスアイレス廿八日】亞國赤十字社支社では、チリー首府サンチアゴ市で十二月十四日より開催の汎アメリカ赤十字社大會に出席を可決した、委員團はペードロ・ヴイノウ博士に依つて統率される筈である

群小電力會社 合同機運昂る
伊豆地方で實現

【伊東發】配電管理と既存設備の發送電への吸收統合が電力國策要項として發表されて以來、群小電力會社の合同機運がますます昂揚してゐるので、電氣廳でも分散する企業の整理統合を促進し、配電事業の地域的合理化をはかるとともに全國的な配電國家管理に對する準備を進める方針であるが、最近伊豆地方の川津川水力（公稱資本百九十四万円）伊東水力（同百廿五万円）伊豆水力（同六十万円）狩野川水力（同百万円）の四電力會社の合併により、伊豆合同電氣會社の新設を承認することになつた、新會社は資本金四百卅五万円で、社長には川津川水力社長水町隆一氏が就任し、松永東邦電力社長が相談役となつた

今度は石炭自動車
試驗の結果好成績

【東京發】ガソリン自動車の代用品として木炭自動車が生れたが、これも木炭不足でそのまた代用品として今度は石炭自動車が走ることになるといふ—黃バスこと東京環状乘合自動車株式會社では手持の無煙炭を二割乃至四割木炭にまぜて木炭バスを運轉したところ大體性能に變りがないことが明らかになつた、商工省でも木炭車の石炭化に要する必要量を研究中である

胃腸に エビオス

大陸を目指し 一部落の移住

【山口發】二百八十万円を投じ、いよ〳〵本年度から下松市外米川村に構築される山口縣營温見ダム工事により、現在の寺院一、農家約三十戶が湖底に沒するため立退きを餘儀なくされ、農家はいづれも相當の立退料、土地代を懷に住み馴れた故鄕をあとにすることゝなつたので、傳來の農業を生かして大陸を目指し百餘名の農民男女が敢然大陸に第二の故鄕を求めて出動すべく、目下寄々協議中である

亞國、スペイン間 新通商協定成立す
小麥と鐵類の交換條件

【ブエノスアイレス發】スペイン、アルゼンチン間に新通商協定が成立した、右に依れば亞國はスペインに對し、こゝ七ケ月間に三百五十万噸、一千四百万ペソの小麥を輸出し、スペインはこれと同額の鐵及び鐵道材料を引渡す事になつてゐる

西半球向け 獨の郵便物
今後シベリヤ經由

【ベルリン廿九日發】ドイツ郵政當局は、西半球向け郵便物は、今後一切リスボンを經由せずシベリヤ經由に依る旨發表した、同航空郵便はリスボン經由を續ける筈である

餘録

▲ソ聯とルーマニヤ間に通商條約が成立したと

▲ルーマニヤ鐵衞團は、皇帝派と各處にて血の爭鬪を演じ、勢ひ益々猖獗を極めスペイン内亂を髣髴せしめてゐる

▲伊太利艦隊はギリシヤのコルフ島を砲擊、同島内の兵營通信機關を全部破壞した

▲ルーズベルト大統領は來週より米國内の防備狀況視察を行ふと

▲血と血で爭ふルーマニヤの爭鬪は愈々熾烈化し、皇帝派では頭目以下二千名が既に殺戮され、全國内に不安が漲つてゐる

▲ドーバー海峽で獨驅逐艦隊と英艦隊が大衝突、獨艦隊の勢ひ強く英艦四隻を血祭に上げた

小型大阪城 マニラ市に出現
四十三万圓の建築費

【神戶發】大阪城の端麗さをそのまゝ移してフイリツピンのマニラ市に小型大阪城が近く落成する、同市シンガロン街に事務所を開くマニラ有數の辯護士ホセ・オ・カンポ氏が建築主で同市在住二十三年になる建築技師 山田虎藏氏（五十五年）—福島縣出身—が三年前から同氏の依賴をうけ、邦貨にして約四十三万円の建築費を投じて着手してゐるが、大阪城を一分違はず、敷地三百米平方の耐震耐火コンクリート建のものに壓縮したもので、事務所として使用されるが、將來フイリツピン名物の建築物として、政府に献納され、記念館にあてられることになつてゐる

落成を前にして曠古の二千六百年記念奉祝典に邦人代表として參列のため神戶入港の新田丸で歸朝した同技師の土産話しである

ハバナ大學教授 青年の兇彈に斃る

【ハバナ廿九日發】ハバナ大學教授ラウール・フイアーロ氏は昨日大學の附近で、未知の靑年三名の爲め銃殺された、當局はこれに依り、同大學に來年一月まで閉鎖を命じた、同教授殺害の原因は不明であるが、多分氏の政敵であらうと謂れてゐる

分娩も長期戰 廿日置いて又一人
和歌山市の珍事

【和歌山發】同じ母體から約廿日間置いて二人の男の赤ちやんが生れ、しかも母子三人とも健かに育つてゐるといふ朗話—和歌山市有本四二一トラック助手尹甲新さん（三二）の妻女李近榮さん（二八）—いづれも假名—は去る八月十七日午前七時三男を分娩後もだんだんお腹が膨れるのみで九月三日またまた四男を分娩、このほど和歌山市役所へ出生屆をした、戶籍課では驚いて「産婆の證明が要る」と要求近榮さんは同市中之島産婆岡本正さんの證明を得てやつと三男安一、四男慶一、と屆出を濟ました

肝臟の膽汁を活潑ならしめよ
食養生の要なく毎朝元氣に滿ちて起る法
一ケ量に肝臟から排泄される膽汁が若し止まりたれば消化不良となり胃内に不純なガスが溜り便秘を伴ひ身體の衰弱を招き生活の惱みとなり普通の手當では癒らず唯肝臟特效Carters藥あるのみ、これは用ひれば即座に膽汁元氣は科技的に恢復する PILULAS CARTERSを至急用ひられよ、僞物あり注意。一ケ三ミル

美術石版印刷
盥谷實
聖市タバチンゲーラ街一二六番
郵函 二五七〇
電話 三一三九八〇

横山守 伊藤三郎 兩氏へ告ぐ
貴殿達の將來の名譽及び成功の節の爲め小生方迄來て話しを附けなさい
ドナ・アメリヤ町アグードス驛 森田積生

日本行乘船切符取次所
AV. CAMPOS SALLES 161 富士旅館 新城 Tel. 2847 SANTOS
サントス市

DR. HEITOR FENICIO
Av. São João 536 6º andar sala 2
Fone 4-1188 – São Paulo
淋病
最新治療法ケタリング法を適用すれば如何なる淋病も極短期間に完全に治癒致します
廉價

會計法律事務一般
土橋法律事務所
（日伯產業會社内）
聖市シルヴエイラ・マルチンス街七二番
電話二一九三八九 郵函三三二九
◆午前九時より十一時まで◆

貸間
獨身の方へ食事つき
聖市エスピリツタ街一九七（ラグアペー側）

Aluga-se
Remington, 12 etc.
R. SEN. PAULO EGYDIO, 15, LOJA

CLINICA Dr. José Muniz de Mello
Rua Boa Vista, 116 - 3º andar - salas 301, 302, 303 - Tel. 2-5822 - S. Paulo
脫腸 一 陰囊水腫 入院を要せず
無痛無手術局部注射に依る
根本治療 一 皮膚病・濕疹 雲脂症 丹毒 若禿
親切・丁寧 廉價
診察時間 午前九時＝十一時 午後二時＝六時

AO GARCIA
O IMPERADOR DA MODA
RUA DIREITA, 137 S. PAULO
洋服 又は 婦人服
水浸しの驗しの上ソブ・メデーダで 138$000で
新調可。廉き事此の上無し。

Seus Olhos ganharão NOVA VIDA!
Lavolho é indicado para manter o seu olhar sempre límpido e expressivo. Lavolho beneficia e clareia os olhos. Use-o diàriamente.
LAVOLHO
BENEFICIA OS OLHOS

庭園用々具
如何なる補植も有ります
他に家庭内用品金物道具染料等總て優良廉價
EMILIO WITTE
RUA DO SEMINARIO 81
TEL. 4-5237

内奧地方面にて代理店御希望の方は御一報下さい好條件にて御相談申します

桃の季節になりました
年末の御贈答用品に 御家庭用品には 最も
新鮮 美味 體裁優美 價格低廉
モヂ產組特產の桃を御撰定下さい、市内主要果實店で取扱つてをりますが、左記組合聖市販賣部へ御一報下されば市内何處へも迅速にお屆け致します
モヂ産組 聖市果實販賣部
アユヤンガバウー街九一九
電話 三一四五四九

Casa Allemã
FUNDADA EM 1883
ナタールが近づきました。
御贈答品はカーザ・アレマンに華々しく陳列皆樣をお待ち致して居ります
子供樣の大喜びする玩具類
至極實用向な贈答品
上品な夏向紳士用品
美しい御婦人流行衣等々
總て優良廉價御滿足の戴けるものばかりで御座います
ナタールのお買物は多少にかかわらず
是非弊店でお願ひします
Schaedlich, Obert & Cia. Rua Direita, 162-190

對米輸出珈琲割當量 伯國は九百萬俵
最低價格の協定も希望
さて聖州の御意見は？

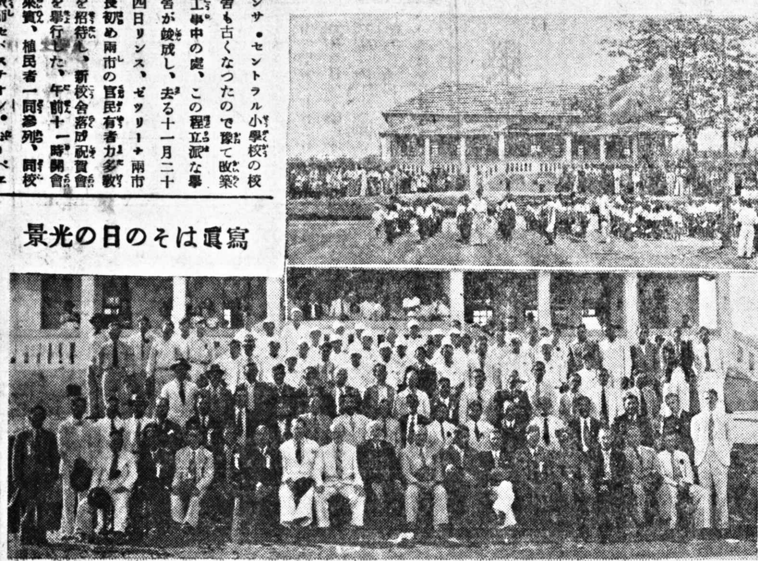
過般北米華府に開催された汎米珈琲生産國會議の結果、對米輸出量割當案が協定され、ブラジル國は九百三十万俵、即ち北米全輸入量の約三分ノ二を占める量の協定が成つた右に關し聖州珈琲栽培者の意見を聽くに、大體右協定案に滿足して居り、明年度珈琲が大減收を豫想されてゐる折價格も高値を保つであらう事は想像してゐるが、此の際最低價格の取極めを希望してゐる向が多い、更に各生産國にかてもそれ〳〵事情を異にする故、珈琲價格の統制も必要なりとの意見もある樣である

內國見本博覽會 今月も引續き開館

聖市アグア・ブランカに開催中の內國見本博覽會は、その後引續き入場者多く、殊に此の日頃の暑さに納凉がてら行く者が多く、すでに入場者八十五万人を突破したとの事である、同博覽會は今月も引續き開館されるが、けふはポルトガル人會の催しになるポルトガル週間の終りとて種々の催しものがある

第二世の教育は我等の手で アリアンサ小學校落成式
アリアンサセントラル

リンス驛アリアンサセントラル植民地では學校教育の改善と共に第二世の教育は自分等の手で、と父兄が自覺し着々其の成績を擧げてゐるが之に伴ひ植民地內の都立アリアンサ・セントラル小學校の校舎も古くなつたので豫て改築工事中の處、この程立派な學舎が竣成し、去る十一月二十四日リンス、ゼッツリーナ兩市長初め兩市の官民有力者多數を招待し、新校舎落成祝賀會を擧行した、午前十一時開會來賓、植民者一同參列、同校教師セバスチオン・ボーベエ並にベルジーナ・ロッピス兩先生指揮の下に生徒並に青年會員一同整列、國歌合唱裡に國旗掲揚、次いで小池建築委員挨拶、市長代理の祝辭、生徒總代池田弘、難波エミ子、田邊健次、青年會代表牧野廣茂君等の祝辭があつて、日會長井本槇輔氏の閉會の挨拶を以て、盛大に式を終り引續き新校舎に於て祝宴を擧げ、餘興として運動會、青年の劍道試合を催し殊に青木諾雄兄弟の帝國劍道型は內外人觀衆に多大の喝采を博し、非常な盛會に夕刻散會した



寫眞はその日の光景

亞國の話
同盟ニュース映畫 定期的に上映

亞國ニュース映画會社と同盟通信の間にニュース映画の交換を行ふことになり、現に二

雜記帖

◆リオ來電に依るとオスワルド・アラニヤ外相並にリオ州執政官アマラル・ペショート氏は明日ポルト・アレグレ市を訪問する

◆パラナ州クリチーバ市からの報に依ると三映画館で日本物がドシ〳〵上映されてゐると

◆アルゼンチン國マルチン・ガルシヤ島より逃亡して來たグラフ・シュペー號乘組の獨水兵二名は、警察當局の手に依り逮捕された

◆徒らにお家に閉ぢこもつてばかりもゐられまいといふので先日野球チームを組成、颯爽と聖市球界に名乘りを擧げた東山さんでは、昨日午後カ中尾球場でチームを二つに分け仲好く練習試合をやつた、お次は何處かと一戰交へるさうだが、さて何れに白羽の矢を立てるやら？

◆リオ、サンパウロのジョッキー・クラブでは、ナタールの贈り品として日本製の輸入スダレを聖市鐵井商店へ一万個註文したが、鐵井商店から「時日が押詰まつてゐるから間に合ひかねます」と返事が來た

◆ブラジル早稻田會では、今回着任の東朝リオ特派員荒垣秀雄氏の歡迎を兼ね、來る十二月二日午後七時から萬中食堂に於て例會を催す、同大學關係者は奮つて出席されたいと

◆野義（假名三十歳位）と呼ぶ住所をもたぬ青年が、ペ線マリリア警察署でつかまつた、チピリッサの奧田氏（假名）の馬二頭が盜まれ、その疑ひがかゝつたためだと

蚜虫殺しには アフィス殺虫劑

パストス第二青年團 グロリア定期總會開催

パストス移住地グロリア第二青年團並びに女子青年會では去る廿四日總會開催、事業報告、會計報告あつた後、次年度の計畫について種々協議した後役員の選擧を行つた

青年團役員
團長前田育人、副團長松原一雄、會計三宅一男、書記澤口正義、事業部長澤口正義、同副上ケ島輝義、產業部長水馬稔、副吉浦悟、修養部長吉浦悟、運動部長高森敏夫副上ケ島輝義

女子青年會
會長瀧部愛子、副會長草野スミエ、會計岡森靜江、書記水馬久子、修養部長伊勢島清子、副都築佐津子、事業部長柳浦米子、副島柳雪編輯部長植松千代、副高柳雪、衛生部長伊勢島清子、副水馬久子

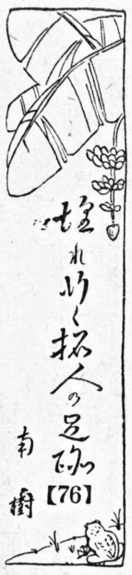
日本は支那を支配する曉 世界市場を一手に收む
米國經濟界最大の惱み

米國經濟界は近來稀に見る緊張の色を示してゐる、その問題とされる所は政界に於ける二つの見解即ち「米國は此の際日本に對して全面的禁輸を行ひ、經濟的壓迫を加へるが最善の策である」との態度を持す強硬派と「日本と此の際不利な關係をもつことは米國にとつて賢明なる策ではない、米國が現在英國に對して全幅的の支持を與へてゐる時とて日本との國交の惡化は現在の處考慮すべきである」となす一派であるが、然し米政界並に經濟界で最大の惱みとする處は日本が支那を全面的に支配する場合、日本は如何に支那民衆を使用するか、即ち「日本は支那民衆を安い給料で工場或は生産物製造場にて彼等を使用して世界市場にその生産された安い品を送りだした場合、世界市場は彼等日本人の一手に收められるだらう」といふにある若し斯ることが實現されるものとすれば米國經濟界に齎す打擊は莫大であるのみならずひいては生活問題にまで及びはせぬかといふのがその惱みである

下四ケ月間の珈琲輸出量

本年七月から十月までにサントスから輸出された珈琲は毎月八十万俵を超過し、總量二百五十万袋以上に達し豫想外の好成績をおさめた、主なる輸出先は

北米	二、三〇〇、〇〇〇袋
芬蘭	七四、〇〇〇
カナダ	二四、〇〇〇
亞細亞	四、〇〇〇
その他	九八、〇〇〇



一代の怪雄山縣 【十五】

○…カフエイ…○が終ると山縣は「オイ、お前達は今日俺と一緒にマンヂオカ掘りに行くんだ。」と云つた。例の牛車を仕立て、山縣を初め坂本等の三人が乘つた六頭の牛を繫いで居るのも面白いが、あの原始的な木をくつた車輪が廻轉する度にキャーキャーと立てる軋音がエキゾーテックな興をそゝつた。しかし牛の步調が少しでも鈍ると彼は例の〈ロンで鋭く牛の尻を突いた。牛が驚いて急走し出すと車はごとん〳〵と、惡い道のことであるから、たまには石ころや木の根などの上に三十度位ゐな傾斜の波を打つことがある。三人は生命がけで車の欄木に一〳〵がみつかなければならなかつた。その度に山縣は「どうだ、ブラジルの牛車は面白からう。痛快、痛快。」と嘲るゝ樣に笑つた、牛車が小川の所に來ると止まつた。そこに綠色の濃い廣葉をつけた樹があつた。そうして淡黄色をした大きな果物が袋の樣にぶら下つてゐる。而も幹に「オイ誰れか登つてあれを取つて來い。」

○…山縣…○は叫んだ。それ〳〵華奢な體格の河崎や田中の出來る樣でなかつた。仕方なしに坂本は山縣の命令通り靴をはいたまゝマカコとならなければならなかつた。坂本は殆ど決死の覺悟で勇敢に？——其實汗だく〳〵で漸く一箇の果物を採ることに成功した。山縣は腰からファコンを拔いて其果物を輪切りにした。「どうだ、これはジャカと云ふ果物だ。」と云つて其一ト切をファコンに刺し坂本の眼の前に出した坂本は仕方なしにファコンから拔いて口に入れた。「うまからう。皆大に食へ〳〵。」と云つたが、田中も江崎も一口したきりで參つてしまつた。妙なジャカの香に堪へなかつたのである。坂本丈は漸く眼をつぶつて一ト切れ食ふことが出來た。「うむ、坂本丈はどうやらブラジルに及第するらしい。」とつぶやいたと云ふ。山縣の遣口は萬事が此の調子である。所謂他人の眞似樣として眞似られない山縣式なるものも即ちこれである。

○…農場…○內に前主人から讓り受けたとも云ふべきロベルトと云ふ黒人がゐた。何でも奴隸では親分株であつたと云ふことである。ロベルトは頗る善人であるが奴隸をして來た丈に頭も行動も鈍い。そこで山縣は口癖の樣に「ブラジル人を使ふにはジャ、ジャと云ふに限る。」と云つて、會話の尻には屹度já、jáを付けた。ジャ・ジャは多少日本的な發音があることも彼をよろこばしたものらしい。かう云ふ風に獨り合點でブラジル語の解らない彼とロベルトとの會話は一種獨特なものがあつた。例へば

山「オー、ロベルト、オジ、エスタソン、カルタ、「が」テン、？「だから」、ポ、デ、オー、ノン。」

ロ「ポッソ、メウ、パトロン。」

山「エントン、カ、バ、ロ、「で」、バイバイ。」

と云つた風である。勿論例のジャ・ジャはこの場合にも附き物である。ロベルトは山縣が假令どの樣な葡語の解らない日伯混合の會話をしてもよく勘で聞き分けた。

○…山縣…○は時々從順そのもの〻樣なロベルトのことが氣になつた。「ロベルトは奴隸であつたしかし吾々も總て何ものかの奴隸でないか。」と云ふことであつた。しかし彼に取つてそんな考への起るのはほんの稻妻の樣な瞬間に過ぎなかつた。忽ち「俺は山縣だ！」と獨語して、例の傲然たる彼に返つてしまふのであつた。

聖・フランシスコ學園 第九回卒業式

聖市イピランガ區サン・フランシスコ學園本校では、昨日午前十時から同講堂にて市長代理臨席の下に第九回葡語科卒業式が行はれた、卒業生總數七十二名、內男子四十三名、女二十九名、平均年齡十三才強

飛だんお茶番
頭隱して尻かくさず 金髮碧眼の女白浪
絶世の美人泥棒失敗の巻

一週間程前の出來事——聖市ビラマリアナ區某邦人炭屋さん宅へ「——濟みませんが水を一杯下さい」と歳の頃なら廿四、五、目覺めるやうな美人が這入つて來た、居合せた家人に水を貰ひ、そのまゝ出て行つたが、それだけの短い時間に、目敏くも家の樣子を見極めたと見え、間もなく息子は炭の配達に、その他の者がそれ〴〵の仕事について一寸店を空にした間に素早く立戾り、店の有金二コントス余と、洋服一着を持ちさらんとしたが、丁度十五才になる息子が、學校から立ち歸つたので逃げ出す機會を失ひ、壁にかけてあつた外套の中に身を隱した、所が頭がくして尻かくさずのこの女白浪のスッキリ延びた二本の脚を子供が見付け「マ、イ…」と裏手にゐた母親を呼び、二人して其所にあつた棒切れで女の下腹に當る邊をつゝ突いた、觀念したと見え女は矢庭に飛び出し、盜み取つた金全部と洋服を其の場に投出し、素早やく往來に走り出し、人ごみにまぎれ込んで仕舞つたこれでこの騷ぎは別に被害はなかつたが、女の言葉に時々英語らしい短語が混じり、葡語は大して達者でなかつたと家人の話である

主要國の生活指數

伯國社會局の調査に依ると、世界各國の生活指數は次の如くで、伯國は食料費が割合に高く衣服費が割安になつてゐる

國名	食費	住宅費	衣服費	雜費
ブラジル	四八・三%	二五・四%	一〇・一%	一六・二%
日本	三八・五%	二一・三%	一一・三%	二八・九%
獨逸	四六・六%	一八・五%	一三・五%	二一・四%
亞國	五四・九%	二一・八%	一〇・三%	一三・〇%
北米	三六・七%	二六・六%	一二・一%	二三・三%
コロンビヤ	六三・九%	二四・一%	一一・三%	一六・六%

棉の相場
サンパウロ棉花取引所建値　十一月二十九日　單位十五キロ

	買値	賣値
四級	四二、五〇〇	四三、〇〇〇
五級	四二、五〇〇	四三、〇〇〇
六級	四二、五〇〇	四三、〇〇〇

重要商品市況
十一月二十九日　買値　賣値

◎バタタ　六〇キロ
アマレーラエスペシアール　六四、　六六、
◎スペリオール　四四　五六
◎マンヂョカ粉五〇キロ　三三　三五
アルフアフア　キロ　四四〇　四五〇
◎小麥粉一級　四九　五〇
◎砂糖　以下六〇キロ入
極上　七一、　七二
上等　六八、　六九
◎フェジョン　六〇キロ
新△ムラチンニョ
スペリオール　五五　五六
エスペシャル　五八　五九
ボン　五一　五三
レグラール　ノミナル
△ブ・グラード　ノミナル
△コーレス　六〇キロ
ロシンニョ　八二　八三
シュシビンニョ　ノミナル
△ミリヨ　六〇キロ
アマレリニョ　三一、　三一、
アマレロ　二〇五　二〇六
アマレロン　二〇、二　二〇、三
△アローズアグリア
アマレロン
エスペシアール　七三　七五
スペリオール　六五　六六
ボン　六〇　六一
ブランコ
エスペシアール　六四　六五
スペリオール　五六　五七
ボン　五〇　五二

蔬菜相場 十一月卅日
コチア產組調　安値　高値

トマテエスペシアル　三五　三〇
プリメーロ　三五　一〇
セグンド　一五　二〇
レポーリオ　一五　九
ピメントン　三六、五〇〇
バージ　二　四
エルビーリア　四　八
ボブリンニョ　三
ペビーノ　五　一〇
人參　八〇〇レース
バタタ　一五　二〇
コーベフロール　一〇　一八
茄子　八　一二
玉子　二、一〇〇　二、二〇〇

至急　ペンソン格安讓度し
（諸道具一式揃へて）
場所　マリリア市バロン・デ・パナナル二六八
郵函E五九

時間と燃料の經濟
水管式風呂ガマ
電氣工事、ガス熔接
オフシイナ吉本
聖市ロンデ・デ・サルセーダス一〇五

★月刊農業雜誌・總フリガナ附・挿繪豊富★
產業のブラジル
十二月號發賣（豫約分は全部發送濟）
●邦人を蝕むビッショとその對策（この弊風を打破して健全な民族精神・建設的精神に立ち戾らすにはどうするか諸家の意見を開陳）●灌漑と貯水池
昨年も今年もひどいセッカだ。旱害の根本對策も心がけ一つで誰にも出來る。その具體的說明。●アルフアファの栽培（牛豚一番の好飼料。その栽培法を懇切に明解）●成功した平茸の栽培と、南瓜と西瓜の接木（日伯農事協會最近の試みに成功の凱歌を擧る）●三〇九卵鷄を得るまで（產卵檢定メモ）●牛の鑑定（日本の馬喰ふ、ブラジルの牛喰さ〜讀んでおけば牛買ひ損ねることはない。）●溜池養鯉法（第二回。給餌、病氣、害敵等の說明）●カラパートの習性と驅除法（ダニ退治は牧畜家に課せられた宿題だ。その解決篇）●我等の貯金我等の繰綿・搗・映畫物語「土」●セメント工事（農家として必ず心得おくべき知識）●モジの農業」座談會（聖市近郊モジ・ダス・クルーゼスの農業の昨日、今日、そして明日を放談）「報德記物語（二宮尊德の一代記を講談式に面白く說く）」葡文農業記事の見方（一）葡語研究をかねて農業知識を獲る正に一石二鳥の好記事）葡語講義（八）その他掲載九十頁に及ぶ
購讀料　壹月 三ミル　半年 十六ミル　壹年 三十ミル（前金）　送料共
Sociedade Colonizadora do Brasil Ltda.
Caixa Postal, 2975, S. Paulo

クリスマス・イヴに
絶好の贈り物
CASAS
PERNAMBUCANAS

CINE SÃO FRANCISCO
Praça Floriano Peixoto, 226 - Santo Amaro
豫告——本月十一日午後七時十五分より東寶二大映畫同時公開！
上海陸戰隊
(A ULTIMA TRINCHEIRA)
白蘭の歌
(TRILHOS DA MORTE)
オトナ 3$000　コドモ 1$500

CARLOS GOMES
Rua 12 de Outubro, 92 — Lapa
12月3日4日兩日午後七時より
白蘭の歌
(TRILHOS DA MORTE)
O LIBERTADOR
R. K. O. 映畫
(御注意)ピリッツバ方面在住の方は9時59分の汽車に間に合ひます

SUL AMERICA CAPITALIZAÇÃO
A mais importante Companhia de Capitalização da America do Sul
AMORTIZAÇÕES de NOVEMBRO de 1940
No Sorteio de Amortização realizado em 30 de Novembro foram sorteadas as seguintes combinações:
CHR QAO EXS KNY JQJ PAZ
Todos os portadores dos titulos em vigor, sorteados com estas combinações, poderão receber immediatamente o capital garantido a que têm direito.
Séde Social: RIO DE JANEIRO
Succursal em S. Paulo: R. 15 de Novembro, esq. de Anchieta
(EDIFICIO SULACAP)
— Inspectores e Agentes em todo o Brasil —

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H

Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno .... 60$000
" Semestre ... 30$000
Numero de dia .... 300 reis

Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII — S. PAULO — DOMINGO 1 de DEZEMBRO de 1940 — DIARIO No2347

A JUVENTUDE

A VIDA PUBLICA DO PRESIDENTE GETULIO VARGAS E' A MARCHA continuada para a construção de um Brasil cada vez mais digno e feliz no concêrto das nações. Não ha um pensamento interrompido, e não há uma ia que descanse antes de objetivados os planoos.

No exame de sua formação de estadista, o sociólogo não terá dificuldade de aprender a seriação lógica dos empreendimentos, e de tal forma que as suas realizações poderiam ser previstas por quem de boa fé, esteja integrado no bem da Patria, sem ambições personalisticas.

Não há discurso pronunciado pelo Presidente em que se não encontre um pensamento que se formava, se desenvolvia, se completava, para um «pensamento maior» em prol da JUVENTUDE. OS jovens exercem nele uma simpatia de tal ordem que já se percebia não consentir o Presidente ficasse a sua sorte á mercê dos extravios a que conduz a indisciplina.

A criação da JUVENTUDE BRASILEIRA é, portanto, mais uma realização consequente, dentro do grande edificio social do Estado Novo.

A estrutura moral reclamava uma providência sábia em favor dos que amanhã terão responsabilidades diretas na vida pu'blica, em favor dos que precisam desde já acostumar-se a «sentir» os graves problemas que exigem maestria nas suas soluções.

«Trata-se de um órgão mais alto de desenvolvimento orientando a juventude na quadra em que precisa receber instrução civica e moral e também, para militar de modo a preparar os jovens dentro de um regime de disciplina e ordem para as altas funções que serão chamados a desempenhar, na substituição das gerações atuais» — diz o Presidente.

Formar-se-á a unidade. Não se agirá sobre a criança como se já fôra homem, mas incutir-se-ão nela os deveres sagrados do patriotismo. Não se pedirá á menina que já seja a dona do lar, mas deverá preparar-se para as mais belas funções que a sociedade e a Patria necessitam do seu devotamento.

Formar-se-á, enfim, uma geração maça que passe a ter conciencia dos seus deveres presentes e futuros; uma geração que, sem abandonar os necessários prezeres da sua idade, tenha a noção de sua responsabilidade crescente na construção e na defesa da Pátria, de modo a sentir-se que essa cooperação, a dos jovens, constitua alicerce da ordem civica de hoje, como do progresso de amanhã.

A frase histórica do Presidente Getulio Vargas no dia 11 de maio de 1938, pronunciada quando mais de duzentos mil manifestantes desfilavam em frente ao Paracio do Catete em homenagem ao Chefe da Nação, e como protesto ao surto sebelde da madrugada de 11 de maio, pode hoje também ser dirigida de modo especial á JUVENTUDE, tal o seu amor aos jovens, e tal a certeza que tem de que a JUVENTUDE BRASILEIRA será um fundamento moral, intelectual e civico da nova ordem que êle criou e vem dando ao Brasil essa feição, até então desconhecida, de poder, segurança e grandeza: «Eu constituo o povo brasileiro em auxiliar permanente do Estado; eu o constituo em legião para a defesa permanente dos interêsses da Pátria!»...

Um valor! Uma oportunidade!
Um excelente negocio!
Na Colonia Nipponica!
"ANNUNCIOS"
Sirva-se dos
do
"NOTICIAS DO BRASIL"
Rua Fagundes, 196 - Phone 7 4670
Caixa Postal, H. S. Paulo

O Brasil de hoje, de hontem e de amanhã

(5)

Os que sabem o que representam na vida de uma nação, nos dias que correm, o carvão mineral e os combustíveis e lubrificantes líquidos, nos quais repousa a defesa militar do país, têm manifestações de aplausos pela iniciativa governamental que tornou cânone constitucional a proteção à produção do nosso carvão mineral e dos combustíveis e lubrificantes líquidos.

O QUE DISSE ZWEIG

O QUE STEFAN ZWEIG DISSE A' IMPRENSA DO BRASIL e dos brasileiros, não é bem — está-se vendo — um feixe de coisas amáveis atiradas por um itinerante apressado, na sua ânsia de ver «algo de nuevo». Nós já estamos acostumados a ouvir tais expansões e sabemos perfeitamente quando elas são superficiais ou sinceras.

Zweig, aliás, não teria necessidade alguma de brindar-nos com adjetivos elogiosos. Escritor de renome mundial, não precisaria, como tantos, de lisonjear para receber em troca gratamente igual. O que êle diz de nós é, pois, a expressão real do seu pensamento. E, melhor diriamos, do seu sentimento, visto como de suas palavras o que se vê é mais uma emotividade do que uma inteligência que se manifesta. Stefan Zweig, em suma, é hoje um namorado da terra do Brasil.

O que mais impressiona o analista e pensador austríaco é o surto criador que lhe fez encontrar no Rio uma cidade nova surgida no curto intervalo de quatro anos, entre uma e outra visita sua. Deslumbrado com o panorama natural, êle tem todavia bem abertos os olhos perscrutadores para conhecer, ver e admirar também os frisantes aspectos da vida econômica, cultural, social, que vão transformando o burgo de Estácio de Sá numa maravilhosa capital, estuante de progresso.

No centro do quadro esplêndido da realidade brasileira, uma figura inconfundível de chefe, o Presidente Getulio Vargas. Zweig não tem a menor hesitação em proclamar que ao seu Presidente deve a Nação brasileira a fase atual de renovação e grandeza.

Ainda bem que é um analista da sorte do autor de tantos estudos definitivos sôbre vultos preeminentes da humanidade, que o proclama. A autoridade dêsse julgamento não faz senão confirmar a convicção em que vive o pais acêrca do homem providencial a quem confiou os seus destinos.

O BRASIL NOVO

As comemorações do dia da independencia constituiram um belo pronunciamento civico. Estamos, hoje, em face dum fenômeno magnifico, em que as fôrças nacionais e as energias da raça intervêm, traçando os caminhos retos da nossa próxima grandeza. Em poucos anos de propaganda sincera, representada nos atos duma administração acertada, que se distribuiu por todos os setores da vida e animou tôdas as virtudes e esperanças, o Presidente Getulio Vargas póde ver o pais realizar êsse milagre de consciência patriotica e segura confiança nos destinos que se lhe antolham. O desfile da juventude foi a prova do triunfo do Brasil renovado. O Estado Novo não se deteve diante dos obstáculos, que vários anos de negligências tinham erguido. Dispondo de matéria prima excelente, que é o nosso acervo de energias, o Govêrno levou o têrmo reformas que colocaram a vida nacional num plano superior ás conjeturas dos pessimistas. Assim se explica e compreende o entusiasmo com que milhares de jovens deram ao Dia da Pátria os altos relevos dum pronunciamento civico sem falhas. O desfile da juventude que se está organizando sob influxos de novos ideais, constituiu a primeira manifestação sensivel da ação constante do Govêrno no empenho de robustecer a conciência nacional. Desvanecidas as fraudes dum regime em que o novo tinha necessidade de intermediários, para se fazer ouvir, o pais compreendeu os deveres que lhe cabem e, espontaneamente, se cuida com tôdas as energias a obra do Estado Novo.

LEIA O NOSSO
KODOMO NO SONO
Supplemento do jornal "Noticias do Brasil"

O general Wang Ching Wei tomou posse da Presidência da República da China

NANKIN, 29(Domei) — Com grande solenidade e com a presença de mais de 200 personalidades de destaque, tomou posse o novo «Presidente da Republica Chinesa», sr. Wang-Chin-Wei.

«ACONTECIMENTO HISTO'RICO»

TO'QUIO, 29 (Domei) — A imprensa nipônica dedica extensos editoriais relativos á nomeação de Wang-Chin-Wei para presidente do governo nacional chinês.

Os comentários se referem a um acontecimento histórico, pois com o termino presidencia de Lin-Sen a nomeação de Wang-Chin-Wei é perfeitamente legal. O governo de Chang-Kai-Shek, ministro presidente do gabinete de Chang King é ilegal.

O TRATADO SINO-JAPONE'S

NANKIN, 29 (Domei) — O tratado entre o governo de Nankin e o Japão foi hoje ratificado pelo Poder Legislativo, devendo entrar em vigor no sábado, iniciando-se formalmente as relações diplomaticas entre a China representada pelo governo de Nankin e o Japão.

BRASILEIROS E JAPONEZES...

O Japão para nos, brasileiros, graças a acção de um grupo de intellectuaes, vae perdendo, pela divulgação de obras importantissimas, aquella antiga feição de paysagem e de delicados motivos decorativos.

O phenomeno japonez, ainda ha pouco descerrado á nossa natural curiosidade, para magnifica obra, que é a «Historia do Japão», de autoria do brilhante periodista e escriptor brasileiro, sr. Alexandre Konder, é digno de ser meditado pelos homens de pensamento.

A cultura nipponica que em menos de sessenta annos, assimilou por completo a arte guerreira dos paises do Occidente, se funda em uma forte e inquebrantavel consciencia nacional, sem resvalar, entretanto, nos empalissados do imperialismo, tão ao sabor britânico.

O Japão cuja história Alexandre Konder estada, em synthese de admiravel clareza e verdade, é um paiz ao quel não poderiamos deixar de querer bem, sobretudo si tivermos em vista quanto em prazo curto, ha realizado a immigração nipponica no nosso meridional.

Impressionaveis periodistas, entretanto, deslocam o phenomeno rigorosamente asiatico do Mikado para as republicas novas da America do Sul e, como cabiu de moda o velho trefrão do perigo germanico, surge as vezes, aqui e alhures, a toda a tem êco do perigo amarello...

Parte do Amazonas de São Paulo e de Matto Grosso testficam a valia do trabalho nipponico, dentro da moldura sem igual da terra brasileira.

Aquellas circunstancia que, para alguns, se apresentam como alarmantes symptomas de expansionismo imperial, devem ser enquedradas na têla da mentalidade asiatica leinente, e, então chegaremos á irreprimivel conclusão de que o Japão, em todas as guerras nutridas, nos tempos modernos, visou sempre exercer sagrado direito de legitima defesa propria e nunca se prenceu á falsa infiltração imperalista.

Elemento ordeiro e trabalhador, o japones possue, na sua organização qualquer coisa de sobrehumano e de imperecivel.

A Sua proveitosa actuação, na balança económica brasileira, já é sensivel e palpavel e ella se traduz pelos graphicos de progresso e pelos admiraveis indices de pujança e de desenvolvimento das colonias nipponicas, situadas no nosso oppulento «hinterland».

Gritou-se e muito, ha tempos por exemplo, contra o facto de existir no arredores de Tokio, uma escola de aprendizagem colonial, mantida pelo governo e destinada ás levas que emigravam para a America.

Nada mais natural, nem mais escapo de qualquer censura.

Esse aprendizado constituiu uma ambientação á distancia, porque facil será comprehender as difficuldades iniciaes que espreitarão no nosso continente o trabalho de correntes immigratorias de origem asiatica.

O japonez no Brasil possue, como qualquer elemento colonizador são grande propensão adaptativa, — affirmativa que decorre da observação que se fizes das localizações nipponicas em São Paulo.

Não existe o receio dos enkistamentos racicos.

O japonez, como o allemão e o italiano, não é, na America, um elemento politico, mas um factor impressionante de trabalho e de realização.

A campanha de melhor aproximação nippo-brasileira, a que se vem entregando, annos seguidos, o sr. Alexandre Konder, — hoje, sem favor, reconhecido technico nesses problemas — é funcção de sadio nacionalismo, desse nacionalismo verdadeiro que, sem tolos preconceitos, deseja vêr o Brasil prosperar e progredir, pela amalgama de variados elementos ethenicos, na constituição surprehendente do futuro padrão humano da America.

E, para essa cruzada bem brasileira, é necessario que os homens de intelligencia e de bôa vontade, — no jornal, nas revistas especializadas, na cathedra e no livro —, situem a cooperação economica do immigrante japones no Brasil dentro de suas legitimas e verdadeiras proporções, sem exaggeros, nem infantilidades...

Porque, na constituição definitiva do nosso parque industrial muito haveremos de contar com a ingente collaboração do homem do Japão, identificado ao Brasil, para onde a vida o trouxe, na conquista de melhores dias e de novasp erspectivas de trabalho e de realizações.

Eis porque, na diplomacia não official de nosso Paiz, presta a mocidade culta e observadora de Alexandre Konder, com os seus livros perfeitos e sinceros, serviço por todos os titulos difficil de ser igualado, ou, pelo menos pintado em seus nobres propositos e em suas puras intenções de bem amar ao Brasil, que é eu, e que é nosso.

PORTUGAL E A AMIZADE JAPONEZA

— Num banquete que ofereceu aos representantes do nosso exército — afirmou o novo adido militar do Japão em Lisboa, Coronel Seiji Maruyo:

«Foram os portugueses os primeiros europeus que, vencendo a enorme distancia que os separava do Extremo Oriente primeiramente tomaram contacto com o Japão, a cujo facto da máxima importancia histórica, ficou o meu pais devendo o conhecimento das tácticas militares do Ocidente. Por seu turno se têm os portugueses consagrado ao estudo e aperfeiçoamento da cultura japonesa e bem assim de muitas e variadas coisas de origem nipónica.

«Tiveram e têm ainda, os portugueses uma larga hegemonia no vastissimo território do Extremo Oriente e na Oceania, A este proposito, devo confessar-vos, com o mais infinito prazer, que tal circunstancia é para nós, japoneses, motivo de grande satisfação e orgulho: termos, como vizinhos, essa pleiade de portugueses que por aquelas longinquas paragens se acham dispersos a atestar, nobremente, o valor de uma raça de ousados navegadores que foi, em todos os tempos heroica e valente».

De Mendes Pinto e Zeimoto a Wenceslau de Morais — os portugueses sempre viram no Dai Nipon um povo amigo e um grande povo.

E os japoneses sabem-no. Ainda não há muito que um diplomata norueguês, o Sr. Finn Koren, dizia serem os portugueses «os unicos europeus que o poderoso Japão considera amigos». Que isto é assim — atesta-o, de resto, o comoredor monumento que se ergue na ilha de Tanegashima e padrão que os nipões levantaram em memoria e honra dos primeiros portugueses que lá chegaram.

ASPECTOS HISTORICOS DO ESTADO NOVO

SILVIO PEIXOTO

(5)

E como os navios não terão vida propria sem industrias maritimas accessórias e sem elementos de tração, isto é, carvão e petróleo, o Estado Novo vem, igualmente, desvelando-se por êsses aspectos da administração, bastando dizer que das pesquisas realizadas dentro de um raio de muitos lustros não tinha resultado nenhum encontro positivo de petróleo no Brasil, o que agora é uma realidade em Lobato e muitas esperanças bem fundamentadas em vários pontos do território nacional.

POTÊNCIA AERONAUTICA

Dois filhos geniais do Brasil deram ao mundo a solução do problema do dominio do espaço: — Bartolomeu de Gusmão e Santos Dumont.

O Brasil é, portanto a Pátria da aviação e sem seu auxilio a potencialidade naval será apenas um mito.

O Governo remodelou as bases de aviação de Florianópolis, Santos e Rio de Janeiro, e desenvolveu assombrosamente o numero de campos de aviação disseminados em todo o pais.

Até o ano de mil novecentos e trinta, êsse numero era verdadeiramente irrisório, contando-se por unidades, e hoje eleva-se a muitas centenas, afora a tendência para multiplicá-los ininterruptamente.

Nossa aviação civil e os clubes de planadores têm também merecido desvêlo por parte do Estado Novo, que realiza obra orgânica, desenvolvendo-os e amparando-os como órgãos destinados a formação de nossa reserva aérea militar.

Mas a efeméride de maior significação na história da nossa potencialidade aeronautica, a data que não poderá ser olvidada pelo históriador do futuro, é a de 8 de maio de 1937.

Nesse dia glorioso, ao mesmo tempo em que eram batidas nos estaleiros da ilha das Cobras as quilhas dos contra-torpedeiros «Mariz e Barros», «Marcilio Dias» e «Greenhalgh», iniciava-se, nas oficinas da aviação naval, na Ponta do Galeão, o serviço de construções aeronauticas.

«E' a partir dêsse dia, segundo a promessa então formulada pelo ilustre almirante Aristides Guilhem, ministro da Marinha, «em cada três dias, um avião deixará a oficiana para alistar-se na esquadrilha de instrução!»

Assim se completou a primeira série formulada no programa do govêrno e tôdas as providencias foram tomadas para o prosseguimento de novas séries até a fabricação integral do avião brasileiro, inclusive motores e aplicação do aluminio extraido de argila nacional.

E' tambem outra realidade que a descrença mórbida considerava impossivel para o nosso meio.

Hoje, quem visita as oficinas da ilha do Governador e vê o operário brasileiro, que desconhecia essa atividade, trabalhando com entusiasmo e eficiência na construção de aviões, não pode deixar de experimentar no seu intimo a sensação de que só o Estado Novo conseguiria tanto em tão pouco tempo, mercê do clima civico que criou no pais.

Concomitantemente, o Correio Aéreo Militar continua a sua obra benemérita de ligação, irradiando-se para todos os pontos do Brasil e levando em suas asas uma particula dos anseios de comunhão que palpitam no imenso território nacional.

Esse empolgante espetáculo — os céus da Pátria da aviação sulcados por aviões de sua fabricação propria — não é apenas um motivo de exaltação sentimental, mas, principalmente, uma garantia positiva da sua integridade.

NOTICIARIO ESTRANGEIRO
DO
«NOTICIAS DO BRASIL»
FORNECIDO PELA AGENCIA
ELECRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

時報支社
地方取次所
(Lins - R. Com. Salgado, 144
Marilia - R. Paes Leme, 306
... Prudente - R. Ruy Barbosa, 70)
時報商事部

赤松の苗
紀元二千六百年の記念樹として赤松は最も適當であります
一年生 一本 十釬
二年生 同 十五釬
送料、荷作、検査料共
一本ー五本まで 五釬
五本ー十本まで 十釬
十本以上 一本毎に一釬増し

A CASA CONFIANÇA
RUA LIBERDADE 66 TEL. 2-4652
おしらせ
春夏の新季節向呉服反物着物、リンネヨ等が豊富に入荷致しました。又セーダ靴下、寝台掛木綿物は常に多数取揃へ大勉強致して居りますから是非一度御来店をお願ひ致します。
カーザ・コンフイアンサ
ルア・リベルダーデ六六番
電話 二・四六五二

安瀬
ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL-300
ARAÇATUBA.N.O.B.
アラサツーバ市
精米所、珈琲倉庫
總取引事務所
アグアリンバ
農場並精珈工場
内外雑貨
食料品販賣
ベ・バライソ町
精米所、一般農産取引

ARTHUR VIANNA & CIA. LTDA.
Rua Florencio de Abreu 491 (antigo 77) — S. PAULO
— Caixa Postal, 3520 — Telephones 2-7101, 2-7102 e 2-7103 —
經濟肥料としての智利硝石加里には
一噸當り 150キロの窒素成分と 160キロの加里成分があります。
之を他の肥料から計算すれば 窒素成分 150キロ ....667$500
加里成分 160キロ ...... +532$800
1:200$300
智利硝石加里は同量の成分があつて .... —910$000
實に一割一歩が農家の利益となり 290$300
400キロ過燐酸が買へますから配合肥料の場合は驚く程經濟的です
◆肥料購入の方には特別な便宜を計ります
◆施肥其他の農業に就いての御質問は弊商會内
牛野實殿宛にお願ひ致します パンフレット各種無料配布
アルツール・ヴィアンナ商會
聖市フロレンシオ・ブ・アブレウ街四九一(舊七七)
電話 二・七一〇一 郵函 三五二〇